

総務部 西山 和子



総務部に配属されました西山和子です。明るく前向きに毎日楽しく生きていきたいです。早く皆様のお力になれるように頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします。

イベント情報

10月 3・4日
森栄会・森長工務店
合同旅行

11月 2日
創立記念式典

11月 6日
安全研修会

12月 5日
忘年会(太閤園)

12月 29日
仕事納め・納会

1月 5日
初出・新年祝賀会

平成27年度 安全大会 安全優良業者表彰!

(順不同)



株式会社 益田組 様 (型枠大工)

表彰理由

常に整理整頓清掃を心掛け、安全な作業環境の中で作業しておられ、見ていて安心感があります。また、その姿は他の作業員の模範となり、安全な作業所作りの為に貢献して頂きました。



株式会社 中電工 様 (電気設備)

表彰理由

安全管理はもちろん、現場の段取りもしっかり行われており、現場を引っ張って頂きました。

進行中現場

- 西喜連第5住宅5号館建設工事
- 西成区梅南2丁目計画新築工事
- 瓜破東住宅3号館建設工事
- 八雲小学校③棟校舎耐震補強工事
- 神津小学校増築その他工事
- 門真市立第四中学校給食棟建替工事
- 天宗瓜破東園新築工事
- (株)S名塩事務所・工場新築工事

編集後記

MorinagaPress第10号編集にあたりご協力並びにご支援いただきました皆様へ感謝申し上げます。今回は無事竣工をしました当社本社ビルを記念しまして施工中の状況等を記事に掲載させていただきました。お世話になりました協力業者の方々本当に素晴らしい本社を施工していただきありがとうございます。お客様訪問では時費様にご登場いただきエピソードとコメントをいただいております。今年はや夏との噂もありましたが、結局は7月末頃から猛暑日の連続で夏バテになられた方も多いのではないのでしょうか？益明けからだいぶ過ごしやすくなりましたが、梅雨に戻ったのかと思うぐらいに湿度が高く毎日雨が続いています。今号が皆様のお手元に届く頃には朝晩も冷え込んできていると思うので体調管理に気を付けて頑張りましょう！(編集担当：営業部)



目次

- 巻頭メッセージ P.1
- 本社竣工記念記事・お客様訪問・注目記事 P.2
- 本社竣工記念記事 P.3~4
- 竣工だより P.5
- 安全研修会表彰・進行中現場・P.6
- 新スタッフ紹介・イベント情報・その他

「集团的幸福について」

それは幸福とはいかなるものであるかということが不知不識のうちに村人には感得できていたからである。本来幸福とは単に産を成し名を成すことではなかった。祖先の祭祀をあつくし、祖先の意志を帯し、村民一同が同様の生活と感情に生きて孤独を感じないことである。われわれの周囲には生活と感情とを一にする多くの仲間がいるという自覚は、その者をして何よりも心安からしめたのである。そして喜びを分かち、楽しみを共にする大勢のあることによって、その生活感情は豊かになった。悲しみの中にも心安さを持ち、苦しみの中にも絶望を感ぜしめなかったのは集団生活のお蔭であった。

(宮本常一「家郷の訓」)

この一文に出会ったとき、私は当社の目指すべき方向性に確信めいたものを持つようになりました。日本人の幸福は、個人としての成功と言うよりも、集团的幸福とでも言うべきものではないか。そんな思いを強くしたのです。

戦後は工業化の進展に伴い、「家郷の訓」にあるような戦前の農村共同体は衰微しましたが、高度経済成長期まではその代役を企業が務めました。ところが、バブル崩壊によってリストラが始まった頃から、この集团的幸福が日本人から消えていったように思います。それは、自殺者や引籠りの増加が時期を同じくしていることから窺え、この現象には企業も責任の一端を負わねばならないと思います。

人間の一生などは短いもので、それこそ宇宙から

見れば一瞬に過ぎません。そんな一人の人間の成功不成功に幸福を求めようとしても、所詮は極微小なものに過ぎないでしょう。それよりもその人が祖先と繋がり、共に生きる人たちが繋がっていることの実感こそが、人を孤独から救い、幸福へと導いていくように思います。同時に競争を勝ち抜きたいということよりも、繋がって生きる人たちのために役立ついたいという思いの方が、仕事のモラルをも高めることになると思うのです。

人間は一人では決して生きることが出来ません。大小さまざまな集団(家族、企業、地域、国家など)の中であって、その集団のお蔭で生かされていることに感謝し、そしてその集団に役立つことによって自分に価値を感じる。これが幸福な生き方であり、本来的に生き甲斐のある人生だと思います。

当社は企業理念の一つとして「あるべき企業風土」に「会社は大きな家族——一人ひとりを大切に孤立や孤独をつくらない」を掲げています。その本意がここにあることに、改めて思いを深めていきたいと思っています。



代表取締役 森長 敬

竣工だより



(仮称)赤坂2丁目計画
設計者:自社
完成日:2015年7月
構造・規模:S造 7F 延床面積397.7㎡



(福)介護付き有料老人ホームゆう&あい都島新築工事
設計者:(株)服部建築事務所
完成日:2015年5月
構造・規模:RC造 5F 延床面積2646.7㎡



(仮称)都島区友洲町ビル新築工事
設計者:一級建築士事務所・スタジオインデックス
完成日:2015年7月
構造・規模:S造 3F 延床面積368.7㎡



(株)K高倉工場改修工事
設計者:自社
完成日:2015年7月
構造・規模:S造 5F 延床面積2781.98㎡



スーパーコート今里新築工事
設計者:(株)アーキスタンド1級建築士事務所
完成日:2015年8月
構造・規模:S造 5F 延床面積3349㎡



のばたけまみー保育園整備工事
設計者:大塚謙太郎1級建築士事務所
完成日:2015年8月
構造・規模:S造 2F 延床面積825.96㎡



有限会社 T & Twelve INTERNATIONAL
代表 時貴 修一郎様

感謝を胸に新たな一歩を



森長工務店さんとの出会いは、平成十四年の一棟目のマンション建築の着工(十五年竣工)を皮切りに、平成十七年着工(十八年竣工)の二棟目、平成二十三年着工(二十四年竣工)の三棟目のマンション建築と、気が付けば十年計画でした。

最初に描いた構想をこの期間の間みごとに効率良く実現して頂き、大変満足の結果を得ることが出来たと喜んでおります。今思えば、右も左も分らない私に、丁寧に指導・アドバイスをして頂き、心強く事業を進める事が出来ました。また、先代の会長様が、自ら足を運んで、建物の出来のチェックをして頂き大変感謝しております。

さて、周辺住民との近隣対策にも十分に対応して頂き安心して、基礎工事の時期には、しっかりと工事内容に近隣の方々からの大きな建物が建つのかと興味深く見学されてる姿を憶えています。

何よりも、森長工務店さんの良さは、施工の良さは勿論のこと、建築後の親切なアフターサービスにあると思います。まさしく、手を抜いたら手が掛かる。という森長さんの社訓の言葉通り、誠実な社長様のお人柄が反映されていると実感させられました。

とになるのではないのでしょうか。全社員のみなさん、今こそこの幸福と次世代への責任を感じ、決して驕ることなく心新たに一歩一歩前へ進みましょう。

建設に当たっては、本当に多くの方々が直接携わっていただいております。合計すると六百九十三名の皆さんとなりました。その方々のお名前は全て挙げさせていただくことはできませんが、皆さんへの感謝の気持ちを込めて、お名前を刻んだプレート正面入り口横の壁に取り付けさせていただきます。今回のモリナガプレス・メインページでは、皆様に工事中のいくつかの写真から約一年間を振り返り、思いを共有できることになれば幸いです。

昨年の六月から旧社屋の解体工事を開始し、約一年を経て新社屋が無事竣工しました。旧社屋は、創業年(昭和二十二年)から数えて二十五周年(昭和四十六年)に竣工し、その後多くの人々に支えられ、親

しまれて四十三年間歩んでまいりました。そして創業六十八年に当たる今年、新たに新社屋が誕生したことは、これより当社がより一層の社会的使命を果たしていく覚悟を世の中に向かって宣言しているこ

れれば幸いです。

注目記事

介護付有料老人ホーム ゆう&あい都島 オープン

森長工務店関連法人の社会福祉法人旭長寿の森は、4棟目となる老人福祉施設を平成27年6月大阪市都島区友道町に開設致しました。現在、随時入居受付を行っております。

今回の施設は、オンリーワンの生活をめざして、いろいろなニーズに対応できる施設として、「ウォーキングガーデン」「玄関ホール」「喫茶ルーム」等、広々とした自由空間をつくりました。

特にウォーキングガーデンでは、歩行訓練・バレーゴルフ・植物観賞・バーベキュー等、生活リハビリ、自然とのふれあいを通じて、健康生活の場を提供しております。

介護居室のタイプは、3タイプ(個室A・個室B・夫婦部屋)あり、月額利用料は、181,010円(居住費・管理費・食費)からとなっております。

手助けを必要としている人に自分の手をさしのべる、ささやかな気遣い「お接待」の気持ちを持って、スタッフ一同、親切・丁寧な真心ある介護をめざしております。



武内ホ一ム長

これから、また、十年先を見据えて、もう一度良いご縁があればと、楽しみしております。今後とも宜しくお願致します。



26年6月
旧社屋の解体工事に先立ちお清め式を行いました。



8月
解体中は、狭い上に隣地が接近していて、細心の注意を払いながらの作業でした。



9月
解体と整地の後、地鎮祭を行い安全を祈願しました。



9月
隣家に近いところの杭工事が、大変でした。写真では杭鉄筋を慎重に建てこんでいるのが分かります。



9月
掘削中の地下水が大変多くて難関でした。特に北側は深かったため、土留め完了まで大変でした。



9月
基礎・埋め戻しの直後、タワークレーンを設置完了しました。近所の方から「大きいクレーンが立ったね〜っ」との感想をいただくこともしばしばでした。



10月
地上躯体工事に着手し鉄筋工事の業者さんたちによる梁のセッティング状況です。



2月
じつりとシーリング材をチェックしている状況です。外壁の石やタイルの量が多い分、シーリング作業は毎晩遅くまで作業をしていたのだと聞いています。



2月
ガラスが組み込まれて、防火シーリングを打ち込んでいる状況です。



27年2月
鋼製建具の溶接取付の状況です。



3月
屋上防水の最終段階では、軽量コンクリートを打ち込んだ後、左官工事業者さんたちが腕を競ってのこテ押さえです。今春は、雨が続いたのでこの日を選ぶ段取りも、皆大変でした。



4月
外壁のアクセントとなっている間柱は鉄骨が軸となっています。建て込みは一苦勞でした。



エピソード

足場解体の前夜、社長の森長は悪夢にうなされました。外壁が二目と見れぬ色で「ここは本社に使わない」と決めた夢でした。

翌日は朝から現場に駆けつけました。足場が解体されるにつれ現われた新社屋に「正夢にならずに済んだ」と心底ホッとしたことでした。

外壁の石の選択に悩んでいた社長を着工の時からずっと見ていたガードマンさんも思わず駆け寄ってきて「社長最高です！良かったですね！」と握手をしてくれ、更に嬉しくなったそうです。



5月中旬
外部足場の解体が始まりました。ついに街に向かってその姿が現れた瞬間です。



5月
塗装仕上げが進行中です。微妙な色調でもよく対応してくださり感謝します。



5月
内装工事も同時進行。ちょっとした変更にもよく対応してくださり感謝します。



5月
一番こだわった、石とタイルを組み合わせの外壁仕上げです。毎晩遅くまで納得のいく仕事をされたと聞いています。



4月
金属性のカーテンボックスのセッティング中。



4月
タワークレーンは、近所の方からも「大きいね」など感想いただきました。クレーンの解体は、深夜作業を余儀なくされました。夜間業務お疲れさまでした。

現場監督 菊池所長 インタビュー

「現場を進める上で一番大切にしていたことは？」

「今後数十年、社長をはじめ社員みんなが使う建物なので、後で後悔がないよう、焦らず丁寧に工事を進めていきたいと思いました。」

「自分が勤める会社の社屋新築の現場管理を行った感想は？」

「旧社屋の工事担当の北島顧問・柳本顧問に引き続き、今回は自分が任命されたことで、身が引き締まる思いでした。着工当初はやりたいことがたくさん有りましたが、あっという間でした。貴重な経験となりました。」

「協力業者さんへ一言どうぞ。」

「当社のこだわりの沢山つまった建物で、無理難題をお願いし、苦勞も多かったと思いますが、無事完成できて本当にありがたい気持ちです。今後色々な面でお世話になりますが、よろしくお願致します。」

